

校報



# やまびこ

大船渡市立盛小学校  
令和5年度 NO.9  
(通算 1054)  
令和5年7月24日発行  
文責：今野忠頼

●すすんで学び共に学ぶ子ども ●認め合い共によりよく生きる子ども ●心身共にたくましくしなやかな子ども

しとね

## 草を褥(布団)に 木の根を枕 花と恋して九十年

気温の高い日が続いています。

朝日を浴びて、汗を流しながら子どもたちの登校を迎えていると、辛そうにしているのを見かねるらしく、「校長先生、もう中に入っているですよ。」「無理しなくていいですよ。」と声をかけてくれる子たちがいます。なんて優しい。

第1学期終業式で、「日本の植物学の父」と言われる牧野富太郎(植物学者)の話をしました。

なぜこの話をすることにしたかというと、富太郎がNHK連続テレビ小説のモデルであることがきっかけではありますが、実は、ある日校長室の書棚の整理をしていると、並んだ書物の中に『牧野日本植物図鑑』を見つけたのです。「これはすごい!」と私は一人で興奮してしまいました。



さっそく手に取り、ページをめくりました。初版は昭和15年(1940年)10月2日発行、手にした図鑑は、「昭和35年(1960年)6月5日四十三版発行(増補版)定価2,800円」とあります。

ご存知の方もいるかと思いますが、富太郎は今からほぼ160年前の1862年、現在の高知県高岡郡佐川町で酒造業を営む裕福な家に生まれたそうです<sup>※1</sup>。自らを

「植物の精(精霊)」だと感じ、日本中の植物を同書のようにまとめ上げる夢を抱き19歳のときに上京、やがて近代植物分類学の権威となるのです。『牧野日本植物図鑑』は、その集大成です。初版は、富太郎が78歳のときです。



生涯で約40万枚もの植物標本を収集し、国内の植物約8,000種類のうち新種や新品種など1,500種類以上を命名したとされます。日本の植物学を世界水準に高めた生涯は、

### 草を褥(布団)に 木の根を枕 花と恋して九十年

という歌を詠むように、人生をかけた「植物への恋」によって生み出されたものと想像します。富太郎は、昭和32年(1957年)に亡くなっています。享年94歳でした。

富太郎の金銭感覚の欠如や、周囲の人に対する彼の振る舞いにまつわる逸話は多くあるそうです。偉人にありがちですが、その言動はとても個性的なものだったのかもしれませんが、「ひとつのことに夢中になる」その類まれなるエネルギーには驚かされます。

子どもたちにとってこの夏休みが、

- 『ファール昆虫記』  
ジャン・アンリ・ファール(フランス)
- 『シートン動物記』  
アーネスト・トンプソン・シートン(アメリカ)

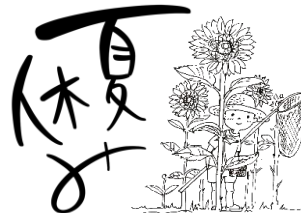
などの偉人にふれて、何かひとつでも「夢中になって勉強したい、調べたい。」と思えるきっかけとなればと願いこの話をしました。

全くの余談ですが、褥(しとね)という言葉は、加山雄三のヒット曲「君といつまでも」の歌詞にも登場します。

\*\*\*\*\*

♪君はそよかぜに 髪を梳かせて  
やさしく この僕の しとねにしておくれ  
今宵も日がくれて 時は去りゆくとも  
ふたりの想いは 変らない いつまでも ♪

\*\*\*\*\*



盛小学校ホームページ  
(ブログ) 携帯サイト

※1 牧野富太郎が生まれるひと月前に、坂本龍馬が土佐藩を脱藩した。まだ江戸時代のことです。

■7月24日(月) 第1学期終業式 代表児童作文 \*\*\*\*\*

2年 にいぬまりる

わたしが一ばんがんばったことは、うんどうかいです。なぜなら、ダンスをいっしょけんめいおどったからです。

さいしょのころは、あまりじょうずにできませんでした。手と足を上げるとき、リズムがはやかたからうまくあわせられませんでした。だから、れんしゅうのときは、いつもしんけんになりました。いどうするときも、みんなにおくれないように、いそいではしりました。なんかいいれんしゅうしているうちに、まちがわないでできるようになって、ますますダンスがたのしくなりました。

うんどうかいの本ばんは、おうちの人にいいところを見せたいと思って、かっこよくおどりました。自分でも、じょうずにできたと思います。おどりおわたるとき、おかあさんに、「じょうずだったよ。」

と言われました。ほめられて、うれしかったです。三年生になっても、体をはやくうごかして、かっこよくおどりたいと思いました。

あしたからの夏休みは、プールにたくさんかよって、いろいろなおよぎ方でおよぐことにしようせんした



— お知らせ —  
アルミ缶回収について

P T A 地域懇談会等で話題になりました「地域公民館でのアルミ缶回収」について、ご協力をいただきますよう各公民館長さんに文書でお願いしております。決して強制するものではありませんが、保護者の皆様からも声をかけていただければ、公民館長さん方も喜ぶと思います。

尚、回収方法や留意していただきたいことなどについては、文書にてお知らせしております。



5年 新沼 祐樹

ぼくが一学期を通して高まったことは、二つあります。それは、声が大きくなったことと、自分から積極的に手を挙げるようになったことです。

声が大きくなったきっかけは、運動会です。運動会の総練習が終わった後、もうちょっと声を出そうと思いましたが、ぼくも参加しました。その練習はきびしくするのはなく、楽しくみんなでかわりばんこにリレーをしました。自主練習に毎回行っていたら、運動会前の四月と比べて、すごく声が出るようになったので、うれしかったです。

手を挙げるようになったのは、学級会で生活目標の話し合いをしたときからです。前までは、手をあまり挙げたかないという気もちがあったけど、今は、できるだけ発表できるようなうつと思つようになりました。学級会ではできるようになったので、国語や算

数など、他の教科でも手を挙げるようにしたいです。夏休みは、プールにたくさん行くことと思います。そう思ったのは、まだクロールで25mを泳げないからです。ぼくは、きまりを守ってプールに入り、夏休みを元気に過ごしたいです。



行事予定



日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7 ・七夕山車運行	8	9	10	11 山の日	12
13	14	15	16	17	18 ★全校4時間授業 ・下校 12:10 ・第2学期始業式	19
20	21 ・委員会活動	22 ・児童会朝会 ・身体測定	23 ・夏休み作品展 ●	24 《校内研究会》	25 ・3年食に関する指導	26
27	28 ・3,4年読み聞かせ *スクールカセ7-来校	29 ★弁当日 ・5年宿泊学習 ●	30 ★弁当日	31		